

民生技術の祭典「CES2025」で多様な製品展開

恒例の体験型展示に高い関心

高精細マンガ風画像を生成できるAIも披露

進化するVRシミュレーション技術



フォーラムエイト伊藤裕二社長(右)と同社がイベント・パートナーを務める大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」

高精細マンガ風画像を生成できるAI「Manga AI」が展示され、人気を博した。ブース前で自分を写真撮影すると、

民生技術の祭典CESは、以前の「家電展示会」から、多方面な技術の展示会へ大きく姿を変えた。とりわけ、近年は「開発・製造のための技術と製品」に焦点が当てられている。中心会場の一つ、ラスベガス・コンベンションセンターのセントラルホールは、家電メーカーが中



民生技術の祭典として知られる「CES2025」が、米国・ラスベガス(ネバダ州)において、1月7-10日(現地時間)に開催された。今年

ムエイトだ。複数年連続してこのエリアに出展しており、同社の体験型展示はある種のランドマークとなっている。



回転型シミュレータは、VRと体感の融合に人気となった

ドライブシミュレータ応用 病院でリハビリ用に導入

で、ウェブサイトなどで顔写真を出したいくない際にAvatar化できる。大

1/6の重力想定 月面走行のデモも

マンガ風に生成されるデモを実施。背景も選択でき、思い描いたストーリーの主人公気分を味わえる。

フォーラムエイトの伊藤裕二社長は「この機能

★ツール連携によるプラットフォーム構築
フォーラムエイトは、推進する事例が展開されている」と説明する。

回も、同社のVRシミュレーション・ソフトウェア



CG制作ツール「Shade3D」は、メタバース空間のデータ作成に導入されている。作られたデータは、同社のバーチャルプラットフォームシステム「F8VPS」が支えるメタバースの中で利用され、同社ツールの生態系が作られている



大阪・関西万博のイベント・パートナーであるフォーラムエイトは、5月20日に万博で安全安心な未来に向けた提言をする



シミュレーションソフトウェア「UC-win/Road」による月面走行シミュレーション。来場者は、6分の1の重力下での運転を楽しんでいた

★若い才能集まる
同社のブースでは、現地の若い人たちがプレゼンテーションをしていた。伊藤社長によれば、「ア